



大阪経済大学 公募制推薦入試対策講座(英語)

夕陽丘予備校 英語講師
大間 健弘

大阪経済大学（公募推薦入試）基礎素養検査の傾向と対策

《全体の出題内容》

2日間実施される公募推薦入学試験の出題形式は共通である。

第1問 文法・語法問題、**第2問** 会話文完成問題、**第3問** 長文空所補充問題、**第4問** 長文読解問題、の以上大問4題で構成されている。解答時間は他の1科目と合わせて90分で、問題数は36問である。

《難易度》

基本～標準レベルのものである。ほぼすべての問題が教科書程度のものと言える。ただ、解答時間が他の1科目と合わせて90分ということで、的確な時間配分と解答スピードと正確な判断力が要求される。

《対策》

大阪経済大学の英語はバラエティーに富んだ出題なので、語彙力・文法力・読解力の総合的な英語力が不可欠であるが、なんといっても語彙力・文法語法力がものをいう。語彙力の強化としては、英単語帳（ターゲット[旺文社]など）や教科書のNEW WORDSを利用して徹底的に暗記し、文法力・英文構成力の養成やイディオムの習得には「即戦ゼミシリーズ[桐原書店]やネクステージ[桐原書店]、スクランブル[旺文社]」などを使うと良い。また、他の1科目と合わせた試験時間なので、設問数に対する解答時間はそれほど長くはないので、正確でスピーディーな判断力が必要となる。語彙力・文法力の強化を基本にした学習を心掛け、それをもとに英文読解力と速読力を養成しておかなければならない。また、会話文問題対策としては、センター試験の過去問などを用いてできるだけ数多くの会話文問題に触れ、会話の状況や流れを読み取る練習をしておくことが大切である。読解力養成については300～400語程度の英文を、速読を意識して解釈するように心掛けてほしい。また、過去問に多く触れることで空所補充問題にも慣れていってほしい。一日一題解くことを勧める。

《各大問の出題詳細》

第1問【文法・語法問題】⇒基本～標準レベル

- ① 形 式：各問短文空所補充形式，4 択
- ② 問題数：10 題
- ③ 内 容：語法・文法に関する基本～標準レベルの問題

第2問【会話文問題】⇒基本～標準レベル

- ① 形 式：各問発話補充形式，4 択
- ② 問題数：5 題
- ③ 内 容：会話文完成、登場人物2名、発話総数2～4（行）

第3問【空所補充問題】⇒基本～標準レベル

- ① 形 式：各問語（句）補充，4 択
- ② 問題数：10 題
- ③ 内 容：長文中の空所に適切な語（句）を補充する問題

第4問【長文読解問題】⇒基本～標準レベル

- ① 形 式：各問4 択
- ② 問題数：11 題
- ③ 内 容：空所補充、下線部の言い換え、内容一致、タイトル選択

問題編

第2問【会話文問題】 次の会話文に最も適切なものを選び。

A : Hi, Tomoya. The school holidays are starting soon. Do you have any plans?

B : Yes. I'm going to visit an old friend from high school who lives in Boston.

A : That sounds exciting. ()

B : Quite a while. He even considers it to be his hometown now.

- ① Does it take long to get there?
- ② Has he been living there long?
- ③ Have you been staying there long?
- ④ How long will you stay with him?

第3問【空所補充問題】 空所に最も適切なものを選び。

1. Americans are increasingly 1 for what is advertised as the healthiest, and often most expensive, water on the grocery 2.

- | | | | | |
|---|------------|----------|-----------|-----------|
| 1 | ① desiring | ② drying | ③ thirsty | ④ wanting |
| 2 | ① market | ② shelf | ③ store | ④ window |

2. The 3 the wealthy opt out of drinking tap water, the less political support there will be for investing 4 maintaining America's public water supply. That would be a serious loss. Access to cheap, clean water is basic 5 the nation's health.

- | | | | | |
|---|----------|--------|--------|--------|
| 3 | ① almost | ② more | ③ most | ④ much |
| 4 | ① for | ② in | ③ on | ④ to |
| 5 | ① for | ② from | ③ of | ④ to |

— MEMO —

設問形式別解法

第2問【会話文問題】

- 1 登場人物のつもりで文脈から客観的に発言を予想
- 2 指示語または省略に注意
- 3 呼応関係
 - (1) 質問 → 答え
 - (2) その他の呼応関係
A : [依頼文、勧誘文、提案文、許可を求める文]
B : Sure. / Surely. / Certainly. / By all means.
「いいですよ。 / かしこまりました。」 など。
- 4 口語表現

3 注意すべき呼応表現

(a) 命令文に対応する場合、I will を用いる。

“Please do it at once.”

“OK. I will.”

(b) 反応疑問：相手の言葉に反応して「そうなんですか？／本当なの？」
という気持ちで使う。

A : “S V ～.” “S V ～なんだ”

B : “(S V ～,) V S ?” “そうなんですか？”

※ 付加疑問と違い、A の発言が肯定文なら B も肯定形の疑問になり、A の発言が否定文なら、B の発言も否定文になる。

A : “I met Ohma yesterday.” “昨日、大間に会ったよ”

B : “Oh, (you met him,) did you?” “えっ、マジで？”

※ この場合、you met him は A の発言と同じであるために、省略され Did you? だけになることもある。

(c) Yes, No という答えに関する注意

- ① 疑問詞で始まる疑問文に対しては、Yes, No で答えられない。
- ② Yes = 「はい」、No = 「いいえ」という訳語とは限らない。

Yes : 「前文の SV を用いれば、肯定文だ」という宣言
No : 「前文の SV を用いれば、否定文だ」という宣言

A : “Have you finished your homework?” 「宿題終わった？」

B : “Yes, I have.” 「うん、終わったよ」

“No, I haven’t.” 「いや、終わってないよ」

A : “Haven’t you finished your homework?” 「宿題終わってないの？」

B : “Yes, I have.” 「いや、終わったよ」

“No, I haven’t.” 「うん、終わってないんだ」

※ Have you finished ～? で質問されようと、
Haven’t you finished ～? で質問されようと、
Yes は I have finished ～. という趣旨の返事の宣言であり、
No は I haven’t finished ～. という趣旨の返事の宣言である。
従って、Yes, I haven’t. や No, I have. という返事は存在しない。

4 会話文特有の対応表現&頻出フレーズ

(1) 「ありがとう」

Thank you. / That’s (very) kind of you. / It’s (very) kind of you. /
I really appreciate it.

(2) 「とにかく、ありがとう」

相手に何かを依頼したのだが、あいにく、相手が依頼に応えられない
時に使う。

Thank you just the same. / Thank you all the same. /
Thank you anyway.

A : “Would you show me the way to the station?”

「駅への行き方を教えていただけませんか？」

B : “I’m sorry, but I’m a stranger here.”

「すみません。この辺りの者ではないもので。」

A : “Oh, I see. Thank you just the same.”

「そうですか。とにかく、ありがとうございました。」

(3) 「どういたしまして」

Thank you に対して使う表現

You are welcome. / Not at all. / Don’t mention it. / That’s all right. /

The pleasure is mine. / (It’s) my pleasure. / It’s a pleasure.

(4) 「はいどうぞ」

何かを差し出して

Here you are. / There you are. / There you go.

(5) 「さあどうぞ」

行為、発言を促して

Go (right) ahead.

A : “May I borrow your pen?” 「ペンを借りてもいいかい？」

B : “Sure. Go right ahead.” 「いいよ。さあどうぞ。」

(6) 「それはお気の毒に / それは困った / それは残念だ」

That’s too bad.

(7) 「どうかしたの？」

相手を気遣って

What’s the matter (with you)?

(8) 「それがどうしたと言うんだ」

反語的に使う。「そんなことどうでもいいだろ。」という気持ち

What does it matter?

(9) 「～してもらえますか」 - 「はい、いいですよ」

Would you mind ～ing? / Do you mind ～ing?

No, I don't. / Not at all. / Of course not. / Certainly not.

A : Would you mind opening the window?

「窓を開けてもらえますか？」

B : No, of course not. 「はい、いいですよ。」

(10) 「～してもいいですか」 - 「はい、いいですよ」

Would you mind my ～ing? / Do you mind my ～ing?

Would you mind if I ～? / Do you mind if I ～?

No, I don't. / Not at all. / Of course not. / Certainly not.

A : Would / Do you mind my smoking here?

「ここでタバコを吸ってもいい？」

Would you mind if I smoked (smoke) here?

Do you mind if I smoke here?

B : No, not at all. 「はい、いいですよ。」

※ Would で始めれば、if 節は仮定法過去時制、Do で始めれば、if 節は現在時制であるが、略式で、Would で始めても if 節を現在時制で言うこともある。

(11) 「～してもらえませんか」

I wonder if you could / would ～.

I'm wondering if you could / would ～.

I was wondering if you could / would ～.

I would appreciate it if you could / would ～.

(12) 「～してはどうですか」

Why don't you V 原形～? / Why don't we V 原形～?

Why not V 原形～? / How about ～ing? / What about ～ing?

What do you say to ～ing?

(13) 「いいですよ / かしこまりました」 など

依頼文、勧誘文、提案文、許可を求める文に対する返事として

Sure. / Surely. / Certainly. / By all means.

依頼文、勧誘文、提案文に対する返事として

I'm glad to. / I'd be glad to. / I'm delighted to. / I'd be delighted to. /

With pleasure. / Why not?

勧誘文、提案文に対する返事として

I'd like to. / I'd love to.

Yes, let's.

(14) 「そうしたいのですが」

依頼文、勧誘文、提案文に対する断りの返事として

I wish I could.

(15) 「それはいいね」

相手の考え、提案を肯定する時

(It / That) sounds good / great.

(16) 「そう思います」

I think so.

I hope so. [それが望ましい事態だという主観をこめて]

I'm afraid so. [それが望ましくない事態だという主観をこめて]

※ so は、相手の発言文と対応する肯定文の代用。

A : "I'm going on a picnic. Will it be fine?"

「ピクニックに行くんだけど、晴れるかな？」

B : "I hope so." [=I hope it will be fine.]

「晴れると思うよ。」

A : "I'm going on a picnic, but I wonder if it will rain."

「ピクニックに行くんだけど、雨降るかな。」

B : "I'm afraid so." [=I'm afraid it will rain.]

「降ると思うよ」

(17) 「そうは思いません」

I think not. / I don't think so.

I hope not. [それが望ましい事態だという主観をこめて]

I'm afraid not. [それが望ましくない事態だという主観をこめて]

※ not は、相手の発言文と対応する否定文の代用。

A : "I'm going on a picnic, but I wonder if it will rain?"

「ピクニックに行くんだけど、雨降るかな？」

B : "I hope not." [=I hope it will not rain.]

「降らないと思うよ。」

A : “I’m going on a picnic. Will it be fine?”

「ピクニックに行くんだけど、晴れるかな？」

B : “I’m afraid not.” [=I’m afraid it will not be fine.]

「晴れないと思うよ。」

- ※ I think not. ... ○
I don’t think so.
I don’t hope so. ... ○
I’m not afraid so.

(18) 「時間を教えてもらえますか？」

Do you have the time?

※ この意味の場合、time に the がついていることに注意。

(19) 「もうおいとましくては」

I must be on the way.

(20) 「～によろしく伝えてください」

Say hello to～. / Give my (best / kind) regards to～. / Remember me to～.

(21) 「さようなら」

Goodbye. / See you. / See you later. / See you soon. / See you again. / So long.

(22) 「どちらさまでですか？」（電話で）

Who is this (, please)? / Who is that (, please)?

Who is calling (, please)? / Who is speaking (, please)?

(23) 「こちら～です」

This is ～ (speaking). / ～ speaking.

(24) 「そちらは～さんですか？」

Is this ～? / Is that ～?

- (25) 「少々お待ちください」
Wait (a moment / a minute / a second).
Hold on (a moment / a minute / a second).
Hang on (a moment / a minute / a second).
- (26) 「間違い電話です」
You have the wrong number.
- (27) 「電話を貸していただけませんか」(他人の家で)
May I use your telephone?
※ use の代わりに borrow は使えない。
- (28) 「話し中です」(電話がつながらなかった時に)
The line is busy. / The phone is busy.
- (29) 「行きます」(相手の所に来ないかと誘われて)
I will come. / I'd like to come.
※ go ではないので注意。
- (30) 「ステーキの焼き具合はどういたしましょうか？」
How would you like your steak?
「コーヒーはどのようにいたしましょうか？」
How would you like your coffee?
A : “How would you like your coffee?”
「コーヒーはどのようにしますか？」
B : “I'd like mine black.” 「ブラックをお願いします。」
- (31) 「仕方がなかったんだ」
I couldn't help it.
※ この help は「避ける」の意。
- (32) 「最高だったよ」
It couldn't have been better.
※ 「それ以上すばらしくはなり得なかったでしょう。→ 最高だった。」

(33) 「君にも見せたかったよ」

You should have seen it.

(34) 「～を車で迎えに行く」

pick 人 up=collect 人

(35) 「大きなお世話だ」

Mind your own business. / (It's) none of your business.

(36) 「おくつろぎ下さい」

Make yourself at home.

(37) 「(食べ物、飲み物) をご自由にお取り下さい」

Help yourself to ～.

(38) 「なぜ～か？」

How come S V～?

“How come you said such a thing?”

「何でそんなこと言ったの？」

(39) 「もう一度言ってもらえますか？」

[相手の言葉が聞き取れなかった場合に]

I beg your pardon? / Pardon me? / Pardon? / Sorry?

(40) 「ケースバイケースです / 時と場合によります」

It depends.

<その他>

That's it. 「それでおしまいだ。 / それが問題だ。 / その通りだ。」

You got it. 「その通りだ。 / それでかまわないよ。」

You said it. 「その通りだ。」

I got it. 「わかりました。」

make it 「成功する/間に合う/待ち合わせる/来る/出席する」

How's it going? 「ごきげんいかがですか？」

have got=have / have got to～=have to～

第3・4問【空所補充問題】

- 1 選択肢に品詞・語形の違いがある。
⇒ 空所の文法上の役割に注目して選択肢を絞る。
- 2 イディオム、コロケーション（慣用的結びつき）を疑う。
- 3 文脈から推測。

《strategy》

まず、一番始めに確認すべきことは、選択肢内に品詞・語形の違いがあるかどうかである。違いがある場合は、空所の文法上の役割が何なのかを考えて選択肢を絞る。その後、イディオムやコロケーションで決まるかを判断し、決まらなければ文脈判断となる。

大切なことは、空所に出会ったら、出来る限り自分でどんな内容が入るのかを文法的・意味的観点から予想して、それと選択肢を比べて解答することである。

第4問【長文読解問題】

《内容一致&タイトル選択》

- 1 (1) リード文から何を問われているのかが分かるもの
⇒ 該当箇所を探しながら読み進める。

(2) True or Not true 形式のもの

⇒ 選択肢に先に目を通し、固有名詞、数字・数値、極端な表現、特徴的な表現をチェックし、本文を読みながら判断できるものはその都度判断していく。 極端な表現は本文でも極端に述べられていないと選んではいけない。極端な表現とは具体的に、only, alone, all, any, every, no, always, complete(ly), 複合関係詞, 最上級などである。

2 タイトル選択問題

⇒ 本文で反復的に述べられていることを抽象的にまとめたものを選ぶ！また、選択肢は先に目を通し、反復して出てくる語(句)はチェックする！そうすることで、大まかな内容がつかめることが多い。

《下線部言い換え》

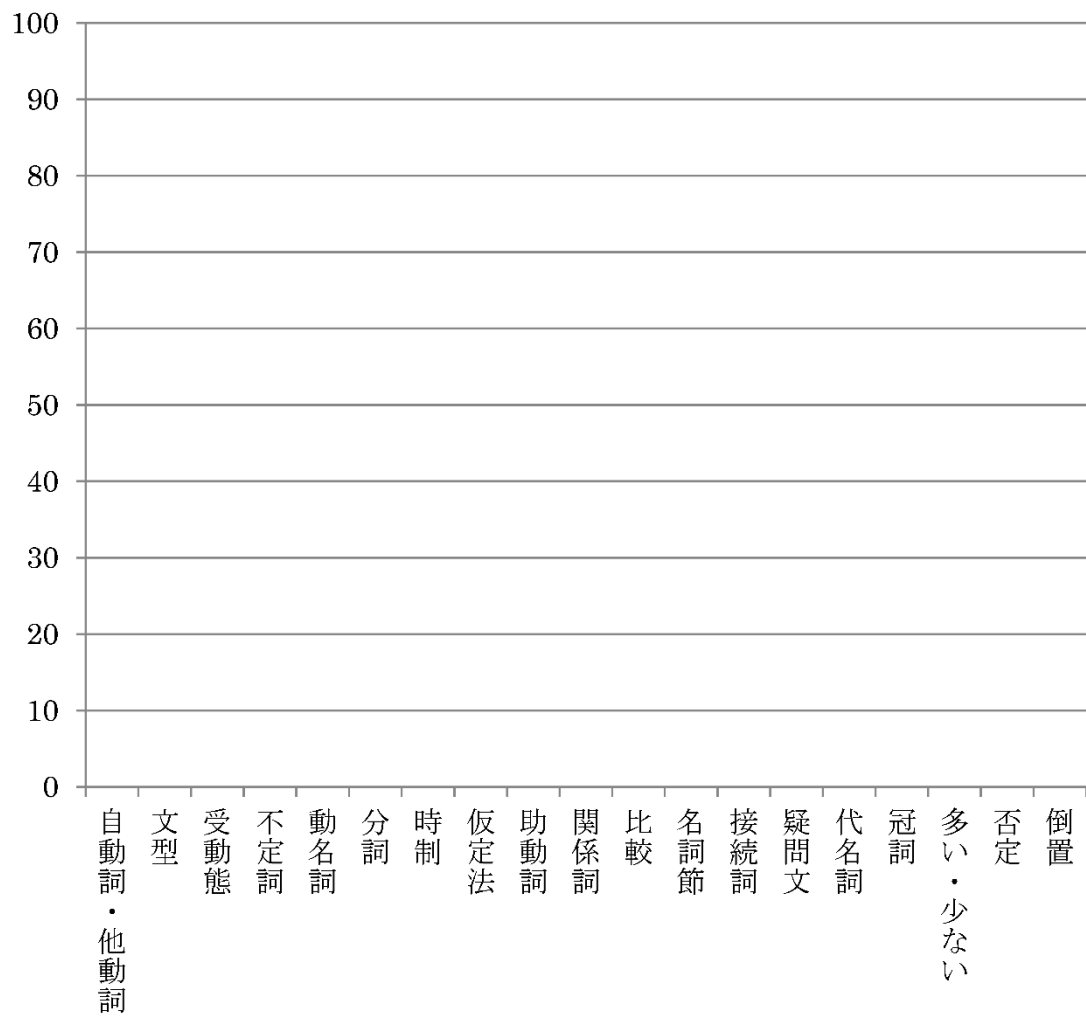
- 1 知識問題 ⇒ 語彙・語法、イディオム、構文の知識を問う問題

2 文脈から推理
↳ 文と文の関係
＝置き換え、具体(⇔抽象)、対比、因果関係、並列・追加

《strategy》

パラフレーズ問題とは、下線部言い換え問題のことである。問題パターンとしては主に2つで、単なる知識問題か、文脈から推測して解答する問題である。

☆ 文法項目俯瞰図 ☆



(縦軸：正答率 横軸：単元)

☆ 大阪経済大学への英文読解 50 題 ☆

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

大阪経済大学合格
に 1 歩前進！！

今からやること

～赤本に挑戦～

- ・自分で本番を意識して全力で解いて要した時間
(→「傾向と対策」で示した時間とどれだけ開きがあるかを確認し、本番までにその時間差を埋めていくことを意識して過去問演習に取り組む)

① 分 ② 分 ③ 分 ④ 分

- ・正解率を出す
(それぞれの大問ごとの出来・不出来を確認し、過去問と並行して苦手な大問の形式の練習を行う)

① / 10 問 ② / 5 問 ③ / 10 問 ④ / 11 問

合格の目安 (80%)